

令和3年度 第3回市民と市長の座談会

会 議 報 告

事務局 企画財政部広報秘書課広聴係

開催日時	令和3年11月7日（日）午後2時00分～4時00分
開催場所	市民会館・萌え木ホール
参加者	男性 3名 女性 2名 計5名
会議次第	1 開 会 2 市長あいさつ（市政報告） 3 懇 談 新型コロナウイルス感染症について 4 閉 会
主な意見	<ul style="list-style-type: none">・ コロナウイルス感染者への初期対応について・ コロナウイルス対策による免疫抵抗力について・ 公民館の感染予防対策について・ 集会施設の感染予防対策について・ コロナワクチン接種の電話予約について・ 高齢者のスマホ教室について・ コロナウイルス感染症の第6波について・ コロナウイルス対策における公園のにぎわいについて・ コロナウイルスの感染予防対策について・ 近隣の方の消息について・ 旧消防署建物前の拠点回収場所について・ 新庁舎及び（仮称）新福社会館建設について・ 国分寺崖線等の緑を守ることにについて・ 都道3・4・11号線について
懇談内容	別紙のとおり
その他	手話通訳者 2名 保育士 1名

令和3年度第3回市民と市長の座談会

令和3年11月7日

1 開 会

○司会者

皆さん、こんにちは。本日は、御参加いただきまして誠にありがとうございます。私、本日の司会進行を務めさせていただきます広報秘書課長の廣田と申します。よろしく願いいたします。新型コロナウイルス感染症の防止対策としまして、マスク着用のまま着座にて進行させていただきます。よろしく願いいたします。着座にて失礼します。

それでは、まずはじめに、お配りしている資料につきまして確認させていただきます。まず、次第がございます。続いてアンケート、こちら終わりに御提出をいただければと思います。続きまして、冊子になっている「令和3年度施政方針」、こちらのほうになります。続きまして、「小金井市予算の概要」ということで、こちらも冊子になっておりまして、こちら主な事業の紹介ということで、15ページから30ページを抜粋したものになります。続きまして、横長の「小金井市における新型コロナワクチンの接種状況」ということで、11月4日現在のものこちら資料になります。こちら、毎日更新しております。続きまして、年代別のワクチン接種状況ということで、こちらは10月31日現在ということで、こちらは毎週自動で更新をするという形の資料になります。続きまして、両面で「新型コロナウイルス感染症 小金井市緊急対応方針（第7弾）」というこちらのものになります。続きましては、「令和3年第3回小金井市議会定例会予算における新型コロナウイルス感染症対策について」という、こちらの予算の資料になります。続きまして、「生活必需品をお届けします」というこちらの御案内です。続きまして、横長で「こがねい地域応援券をお届けします」という、こちらは市報10月15日号から抜粋した資料になります。続きまして、コロナ差別に関するこちらチラシです。続きまして、令和3年度犯罪被害者週間行事のチラシ、こちらのほうのお知らせです。最後が、障害者週間のお知らせという形のこちらになっております。こちらまでが、皆さんにお配りした資料でございます。あと入り口のほうで、坂と遊歩道のマップですね、「小金井市はこんなところですよ。」というリーフレットもお配りしていますので、ぜひお持ちください。以上でございます。もし、過不

足がございましたら、また後ろの事務局のほうにお伝えいただければと思います。

それでは、開催に当たりまして事務局より御説明を申し上げます。本日の進め方でございますけれども、はじめに市政報告ということで、重要課題の進捗状況等につきまして、市長の西岡より簡単に報告させていただきます。その後、意見交換ということなんですけれども、今年度は新型コロナウイルス感染症についてということを中心に、皆様から御意見、御発言をいただきまして、それに対して市長がお答えするという形で進めさせていただきます。その後も、もしお時間がありましたら、そのほかについてもお聞きするという形で進めさせていただければと思っております。本題に入る前に、まず5点ほどお知らせがございます。まず、懇談会中は議事録作成のため録音をさせていただいております。あとは、写真のほうをホームページに掲載させていただきたいと思っておりますので、後ろから撮っておりますので御了承いただければと思います。あと、懇談中は御発言されるときも含めまして、マスク着用のままで御発言のほうをお願いできればと思います。あと、発言のときに、マイクをお回しするんですけれども、都度消毒をいたしますので、ちょっとお時間かかるかもしれませんが、御了承いただければと思います。あとは、時間のほうは、本日は午後4時までというふうになっております。会場の都合上、終了後につきましては速やかに御退場いただきますよう御協力をお願いいたします。それでは、次第にしたがいまして、まず市長の西岡より御挨拶と市政報告をさせていただきます。

○市民A

西岡さんのお話というのは何分でしょうか。

○西岡市長

大体、大事な御報告を冒頭25分ぐらい行わせていただいて、その後は時間の許す限り、じっくりと皆様方からいろいろなお話を伺わせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

2 市長あいさつ（市政報告）

○西岡市長

ただいま御紹介いただきました小金井市長の西岡真一郎でございます。よろしくお願

いたします。新型コロナウイルス感染防止対策といたしまして、マスク着用のまま、また着座にて発言をさせていただきますことを、御理解と御協力をお願い申し上げます。

本日は、日曜日の午後という時間帯にもかかわらず、令和3年度第3回市民と市長の座談会に御参加をいただきまして、誠にありがとうございます。今日はお天気もよく、かなり外は人出もあるようでございます。こがねい産業応援祭りも、久しぶりに武蔵小金井駅の南口で開催されているという状況でございます。今日の座談会は、市民の方との対話の場を設けるために、市長就任以来、年に4回開催をしてきております。しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大発症によって、緊急事態宣言なども発令されましたので、この間スケジュールを変更するなどして、工夫をしながら開催をさせていただいております。今日は、冒頭、私のほうから25分程度、新型コロナウイルス感染症対策を中心に市政報告を行わせていただきます。その後、今日のメインテーマは、新型コロナウイルス感染症対策が今日のメインテーマとなっておりますので、コロナ対策につきまして、皆様方から様々な御意見や御感想、思い、御質問、御提言、ときには小金井市の取組に対する御指摘もあろうかと思っておりますので、皆様方のお声をお聞きさせていただきまして、今後の新型コロナウイルス感染症対策に反映できるように努力してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、新型コロナウイルス感染症対策に関して、いくつか御報告を申し上げます。現在は、緊急事態宣言が解除され、リバウンド防止措置期間も解除され、東京都からは、基本的対策徹底期間というものが11月30日まで発令されている状況です。今まで、皆様方が御尽力されてきたマスクの着用、手指消毒や手洗い、うがい、三密の回避、換気など、これまでいろいろと御努力いただいてまいりました感染症対策の基本的な取組を徹底していただきながら、感染症対策と緩やかに社会、経済活動の再開というものが、今両立をしていく期間ということになります。現在、都内の感染者数はかなり大きく減少し、抑制されている状況です。しかし、専門家の皆様方からは、第6波の懸念を示されておりまして、依然として気を許すわけにはいかない状況、油断は禁物という状況と認識してございます。小金井市といたしましても、第6波は起こり得るという想定のもと、今備えるべきこと、例えばワクチン接種がかなり進んでおります。重症患者の抑制が期待されているところではありますが、もし第6波が発生すれば、それはすなわち自宅療養者の人数が増えていくだろうということも想定されますので、買い物代行など、新たな支援策を構築してまいりました。自宅療養者の支援策など、これまで準備してきたことの備えをしっかりと整えてお

きたいと考えております。小金井市の累計患者数は、11月3日時点で2,174名となっております、11月の3日時点で2,174名。そのうち、退院等した方が2,169名となっておりますから、現在はこの11月3日の時点では、5名の方が療養中ということになります。この2,174名を小金井市の全人口における単純計算をいたしますと、57人に1人の方が小金井では陽性判明している、したということになります。第5波でかなりの市中感染等あります。また、自宅療養者の数も、最近では小金井市も毎日毎日公表されている新規陽性者数は0であったり1名であったりと、非常に少なくなりました。第5波のときは、1日の2桁台というのも続きましたし、第5波のピークのときにも、自宅療養者の方が390名ぐらい存在していたときも、小金井市はありました。しかし、現在も自宅療養者の数は0から1桁台ということで、かなり落ち着いてきているという状況ではあります。しかし、冒頭申し上げましたが、従来からの感染予防対策を徹底することが今は何よりも重要でありますので、引き続きの御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。そして、小金井市といたしましては、この感染拡大を防止する唯一の切り札といたしまして、ワクチン接種を最優先事業に位置づけて取り組んでまいりました。安全かつ迅速にワクチン接種を進めていくために、小金井では小金井市医師会、小金井市薬剤師会、小金井市訪問看護連絡会、また従事されるスタッフの方や受託者、事業者の方々と緊密な連携を取りまして、指定医療機関での個別接種と集団接種を進めてまいりました。小金井では、このワクチン接種につきましては、医師会、薬剤師会をはじめ、医療関係者の方々とチームの力を発揮できるように、ワクチン連絡会を立ち上げまして、その会議、2週間に一遍程度開催されておりますが、この会合には私も副市長も教育長も、理事者3名は常に出席いたしまして、このワクチンの接種の事業、小金井市民の皆様方の命と健康、地域の医療提供体制を守るために、全力で今取り組んでいるところでございます。ちなみに、小金井市の11月4日現在の小金井市の接種状況、お手元に資料をお配りさせていただいております。毎日、ホームページでも接種状況を公表していますが、年代別の接種率一覧というA4横の資料を御覧ください。それから、集団接種会場、保健センターと書いてありますが、このようなホームページに毎日公開しているワクチン接種の見える化を図るために、日々ワクチンの接種回数、接種率を公開しているところでございます。医療従事者の方々は、総計約3,700名いらっしゃいますが、そのうち1回目が3,640回、約98%、2回目接種が3,629回、98%、ほぼ全ての方々が完了しているというところですが、65歳以上の高齢者の方々は、切りのいい数字になってはいますが、対象人口2万6,257人

のうち、2万4,000回、1回目92%、2回目が2万3,981回、もう9割を超えておまして91%の方が、2回目の接種を小金井市では完了しているということです。そして、12歳から64歳までのいわゆる一般フェーズにつきましては、7万252回、1回目が約82%の方が1回目の接種を終え、2回目が6万8,912回なので、約81%の方が2回目の接種を終えた状況です。東京都内におきましても、小金井市はかなりワクチン接種が順調に進んできた自治体となつてございます。改めて、多大な御協力をいただいた医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会、関係者の皆様方の多大なる御尽力、御努力に厚く御礼を申し上げます。年代別の接種率という横の資料ですね、横の一覧表がありますが、年代別の接種率を御覧いただきたいと思います。12歳から14歳、15歳から19歳、以下20代、30代と年代別に1回目の接種数、1回目の接種率、2回目の接種数、2回目の接種率を計上させていただいております。特に若い世代、10代、20代、30代の方々の接種率の向上というものが大きな課題でございました。もちろん、ワクチンは言うまでもなく、これは強制でも義務でもありません。日本国におきましても、希望者のみへの接種ということになっております。しかし、ワクチンの接種がワクチンの予防効果、発症抑制、そして重症化予防、この3つの点で効果があるということでごさいます、そして接種率の向上が集団免疫の獲得につながるということもございましたので、小金井市では12歳以上全対象者の80%以上の方が10月末までにワクチン接種、2回接種を終える、10月末までに80%以上の方が2回接種を終えるということを目指して、全力で取り組んでおりました。おかげさまで、10月31日現在でございますが、12歳以上の全合計、9万2,712人の方が接種を2回終えまして、約83%の方が全対象者のうちワクチン接種が終わっているということでごさいます、何とか目標は達成できたところです。そして、10代、20代、30代の方々の接種率がかなり低下するのではないかと指摘がされておりましたので、小金井市からは20代、30代の全対象者、全人口の方々に市長名でワクチン接種の御案内というお手紙をお送りしました。また、小金井市の公立中学生の皆さんには、小金井市教育委員会からもワクチン接種の様々な情報提供を行わせていただきました。その結果、12歳から14歳、いわゆる中学生は約71%の方が2回の接種を終えています。15歳から19歳の主に高校生から大学生の方々につきましては、約79%の方が2回目の接種を終えました。そして、20代の方々は、約73%の方がワクチン接種を終えたところでごさいます。比較的、小金井市は、この若い世代の方々のワクチンの接種率も高いと指摘をされているところでごさいます。また、ワクチンの接種率、

またワクチン接種の利便性を高めるために、小金井市ではいろんなことに取り組んでまいりました。小金井市のワクチン接種が順調に進んだ一つの理由には、50カ所もの診療所でワクチンの接種を担っていただきました。個別診療です。高齢者の方が対象、12歳から15歳までの中学生を含めた対象として、小児専門病院でワクチン接種、全部で50カ所もの個別接種会場で、ワクチン接種を医師会の先生方に担っていただいたと。これは、きめ細かな情報発信につながりました。これが、順調に進んだ一つの背景です。そして、小金井市はこの個別接種プラス集団接種と大規模接種という、いわゆる集団、大規模接種会場を運営しましたので、個別と集団、大規模のハイブリッド、併用型でワクチン接種を行いました。この間、武蔵小金井駅の北口の旧西友ビルの2階と3階をお借りしまして、約1万7,500人の方々に2回のモデルナの接種を行うことができました。約3万5,000回分のモデルナワクチンを確保いたしまして、7月、8月、9月の夏の暑い時期でございましたけれども、ワクチンの接種を行いました。これも、接種率の向上に大きくつながりましたし、駅前ビルということで、利便性の高いところを地権者の方々の御理解をいただきまして、お借りすることができまして駅前接種ができました。その後も、9月、10月と宮地楽器ホールの1階を活用させていただいて、週5日間ワクチンの接種を行わせていただきました。駅前の利便性の高いところを活用することができたと思っております。そして、今現在です。今現在、ワクチンはどうなっているかというと、今も希望者の方々がいらっしゃいますので、未接種者の方々へのワクチン接種を継続しています。1つは、約10カ所の、13カ所の診療所でワクチン接種を続けるとともに、ただし、いずれだんだん診療所のほうの数が減ってまいります。高齢者検診やインフルエンザのワクチン接種なんかが始まりますので、結論から申し上げますと、11月、12月、1月とこの3カ月間は保健センター、保健センターで水曜日と土曜日にワクチン接種を今も継続してございます。予約方式でございまして、まだ未接種者、これからワクチンを接種したいという方がいらっしゃいましたら、ぜひコールセンターなどにお電話をいただきまして、保健センターでのワクチン接種を御予約いただきたいと存じます。市民生活をしっかりと支え、早期の安定化につなげるためにもワクチン接種の推進というものは極めて重要でございまして、私自身はこれこそが最大の経済支援、住民福祉の向上に直結するものと認識してございまして、引き続き取り組んでまいります。さあ、これからいよいよですね、ニュース等で皆様御存じのとおり、3回目の接種、ブースターという接種がいよいよスタートいたします。日本国におきましても、12歳以上の全対象者の方々に3回目の接種を、もちろん

希望者、希望制でありますけれども、3回目の接種を行うという方向性は決まりました。順次今、詳細が段階的に決まってきている状況でございます。小金井市も引き続き医師会の皆様方としっかり連携をしながら、3回目の接種の準備を今全力で進めているところです。12月から3回目の接種がスタートいたします。対象は、医療従事者の方からです。11月の22日から接種券、2回接種を終えた、2回の接種を終えた方の方に3回目の接種券を発送いたします。11月から毎月毎月、対象者の方々に接種券をお送りいたします。ファイザーを打った方は8カ月後から3回目の接種が可能となっております。モデルナにつきましては、アメリカでは半年後からとなっているんですけれども、たいてい、そうなんです。日本は今検討中です。なので、まず決まったところから順次準備をさせていただいております。ファイザーにつきましては8カ月後からの接種となります。なので、65歳以上の方で小金井では、一番早く打った方が8カ月後というと、1月31日になるんですね。なので、事実上2月、2月から65歳以上の方を対象に順次ワクチン接種がスタートいたします。詳細なお知らせは、また引き続き接種券をお送りいたしますし、市報「こがねい」やホームページ等でも随時情報をお知らせしてまいります。ぜひ御覧いただきたいと思っております。何か不明な点があれば、小金井市コールセンターを設けております。土曜日、日曜日、祝日もコールセンターはこの間ずっと運営しております。こちらのコールセンターを御活用いただければと思います。これまでの日常が、少しずつ戻ってくることを願っております。長引くコロナ禍におきまして、制約を受ける生活が非常に長期化をし、地域経済にも影響が及び、先行きが見えない不安を抱えている方もいらっしゃるかと存じます。会いたい人に会えない、やりたい活動ができない、いろいろな町会、自治会、自主防災会などなど、本当に大切な活動に支障を来しました。失われてしまった様々なコミュニティをしっかりと回復できるように、今、小金井市といたしましても、緩やかに社会活動、経済活動が再開できるように、地域団体の方々と力を合わせて努力をしております。よろしくお願いをいたします。ぜひ、コロナ対策につきましては、いろんな御意見をください。そして、小金井市では、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響から、市民生活を守ることを最優先とする方針のもと、引き続きいのち、くらし、地域、市民サービスの基盤を守るというこのスローガンのために、この間緊急対応方針というものを第7弾まで策定してまいりました。お手元の資料にA4の両面で、緊急対応方針、これ第7弾です。緊急に対応すべきものということで、いろいろな取組を行ってまいりました。アーティスト支援、事業者支援、PCR検査の補助などなど、実に多面にわたる取組を行って

まいりました。今進めているのは、この第6弾から第7弾というゾーンでございまして、ここに書いてあるものに現在取り組んでいるということで、ぜひ御参照いただければと存じます。主な取組といたしましては、自宅療養者の方々への支援、小金井市独自で支援メニューを構築いたしました。お手元に自宅療養者の方々への支援のパンフレット、チラシをお配りさせていただいていることと存じます。小金井では、新規陽性者の方、あるいは濃厚接触者になられた方を対象に、生活必需品をお届けするという支援サービスを構築しております。また、希望者の方にはパルスオキシメーターの貸出も行っております。小金井市では、50台購入いたしまして、必要な方々に貸出を行っております。また、新たに自宅療養者の方、人によっては約2週間自宅で過ごさなければいけないという状況になってしまいます。買い物に行きたくても行けないという状況もあります。インターネット等いろいろな物流アプリや、いろんなサービスを利用されている方もいらっしゃいますが、御高齢の方などはなかなかそういったサービスを利用することができないので、シルバー人材センターの方の力をお借りしまして買い物代行、お買い物を代わりにしますよと、買える品目はもちろん限定されているんですけども、趣味のようなものというのはなかなかお買い物に行けませんから、生活上必要なもの、また食べ物でちょっと衛生上問題のあるものについてはお買い物に行けません、一定の範囲の中でお買い物を代わりにしますよと、精算は後ほど代金払いということでの買い物代行サービスも構築しております、第6波に備えてまいりたいと思っております。また、その他接触者外来設備の補助、PCR検査の支援、子育て世帯の支援、介護予防・フレイル予防活動の支援、事業者支援及び消費喚起などを進めてございます。最近では、経済、小金井市独自の地域の経済対策にも取り組んでおりまして、今1人2,500円分の地域応援券、いわゆる地元のお店400店舗で使える商品券を、全市民、12万4,000人の方々全市民を対象に、現在配達記録郵便でお配りをしてございます。11月の12日までに配送が終わる予定で、11月13日、来週の土曜日から2月中旬まで御活用いただけます。こちらは、総額約3億4,000万円規模の経済対策となっております。あわせて年が明けますと1月から、新たに電子決済キャッシュレスポイントということで、スマートフォンなどのアプリを活用して、キャッシュレス、スマホ決済などで電子決済でお買い物ができるサービス、こちらを利用した場合に30%のポイントを還元するという経済事業対策を行います。こちらは約900店舗のお店で利用ができます。事業者選定を行いまして、利用できるアプリ、事業者がPayPay、PayPayという事業者、複数のアプリがあるんですけども、選定の結果Pa

y P a y というところに決まりましたので。こちらにつきましては、御高齢の方などは使えないではないかという御指摘もあるところなので、受託者の P a y P a y さん、P a y P a y のほうからは、フォローアップでどうしたら P a y P a y の決済ができるかということも、そういう講座やチラシなどもお配りさせていただいています。上限1万円です、3,000円のポイントがつきますので、1万円まで買い物していただくと、3,000円分のポイントが付与されるということです。こちらの事業支援の予算規模は、約1億4,000万円の規模となっております。そうしますと、合わせてこの11月、12月、1月、2月とこの4カ月間で、地域応援券と電子決済、合わせますと総額約5億円規模の経済対策をこれから実施いたします。おそらく、小金井市の市政で局所的に見ますと、5億円規模の経済対策というのは、最大規模の経済対策になると思います。事業者の皆様方への御支援、また少しでも市民の方々への生活への御支援なり、地域の経済の活性化につながることを願っているところでございます。

続きまして、若干駆け足になりますが、残り5分程度で小金井市の様々な状況をお伝えいたします。小金井市の人口につきましては、微増傾向がずっと続いておりまして、令和2年度では初めて、小金井市の人口増加率が東京都内62市区町村の中で初めて1位となりました。小金井市は、人口増加率が1位で、多摩地域での人口の増加人数で見ても、都内全体で2位、多摩地域では1位となりました。ファミリー世代の転入超過が主な現象ということでございます。これからも人口動向には注視してまいります。

また、新庁舎、(仮称)新福祉会館の複合施設建設につきましては、現在実施設計に、終盤に取り組んでいるところでございます。

また、可燃ごみにつきましては、昨年の4月に新しい可燃ごみ処理施設が日野市内で本格稼働いたしました。日野市、国分寺市、小金井市とともに、引き続きこの3市での構成市としての役割を果たしてまいります。13年間に及ぶ長きの多摩地域の広域支援がここでやっと終了いたしました。ごみ非常事態宣言というスローガンも、令和2年度で終了いたしました。今新しいスローガン、資源循環型都市「ごみゼロタウン小金井〜ごみを出さないライフスタイルへ〜」という新しいスローガンを掲げてございます。

駅周辺のまちづくりにつきましては、昨年6月に、おかげさまで武蔵小金井駅南口第2地区市街地再開発事業が全て完成をいたしまして、南口のまちづくりの計画は約半世紀のときを経て完成したところです。今後は、東小金井駅北口の区画整理事業をしっかりと完成まで取り組むということと、新しく武蔵小金井駅北口のまちづくりがいよいよスタートい

たします。武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発準備組合も結成されました。小金井市も引き続き御支援をしていきます。

また、二枚橋の跡地と現在貫井北町の間処理場には、不燃系の新しい清掃関連施設も建設工事を進めております。二枚橋では、既に建設の着工がスタートいたしまして、かなり大きな外観でございますが、その骨組みが完成してきているところでございます。来年度中には、令和4年度の早い段階で本格稼働ができるように進めてやっています。

また、この小金井市政にとりましては、現在長期総合計画や様々な基本計画について策定をしているところでございます。

皆様方のお手元には、資料といたしまして令和3年度小金井市予算の概要という資料をお配りさせていただいております。こちらも参考資料として、ときおり御覧いただければと存じますが、15ページからの抜粋版となっております。この資料の見開きを開いていただくと、15ページとなります。この主な事業のところには、令和3年度に市議会で御議決をいただいた予算、新規事業や拡充事業など、主な事業を明記させていただいておりますので、ぜひ御覧をいただければと存じます。

以上、主な市政の課題の進捗状況の中身につきまして、御報告させていただきました。本日は、新型コロナウイルス感染症対策ということがテーマとなっておりますので、このコロナ対策につきまして、皆様方からぜひ多様な、約1年、もう年が明けますと新規陽性者の判明からもう2年になります。長い間にわたるコロナとの闘いです、まだまだ続いています。市長といたしましては、医師会の方々と連携をしながら、引き続き感染症対策、あるいはワクチンの接種、こういったことに取組ながら、そして緩やかに社会、経済活動が再開し、このコロナの中でこれからどのような市政運営をしていくのが求められているのか、そのことをしっかり模索し、実践しながら取り組んでまいりたいと考えているところでございます。

それでは、残された時間で、皆様方からいろいろな御意見をちょうだいしたいと存じますので、どうぞ皆様よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

3 懇 談

○司会者

それでは、意見交換に入らせていただきます。テーマは新型コロナウイルス感染症についてとなります。例えばこの感染症対策全般のことであったり、ワクチン接種のことですね、また生活支援、経済対策といった点、またはアフターコロナに関する事柄など、様々な事柄があるかと存じます。コロナの影響で困っていることとか、またコロナ、今回のコロナで感じたことなど、率直な御意見をお伺いできればと思っております。

それでは、御意見のある方は挙手をお願いできればと思います。よろしく申し上げます。

○市民B

コロナに関する意見です。実は7月ぐらいだったかな、身内で働く人がコロナにかかって、それでうちの娘も陽性だと言われた。それで、旦那のほうは、何ていうか血圧関係の持病があって、咳があがっていて、救急車で運ばれた。それで、新型、インド型か、が出てくる前だったと思うので、わりあい短期間で退院できました。で、私が言いたいのは、そのときの例えば娘のほうも陽性だと言われて、要するにじゃあ陽性だといって、どういうふうな対応をしなければいけないか。テレビで見て、大変だろうとか、まあこんなになつたらどこへ行けばいいのか、身内に出てくると、面食らうわけですよ。それで、どうなるかなと、一緒に暮らしていないのでね。そうすると、保健所からどうこう指示がなかなか来ないというわけですよ。これ、都に言うべきか、初期対応がそんなことでは、全然やっぱり広がる、広がってしまうと思うんでね。で、俺も妙に心配だから、インターネットで引いてみた。そうしたら、一番大事なところで、要するに買い物とかあれでも、とにかく動くなって、こう書いているわけですよ。それでそれを見て、対応はこうだが、身内はこうだ、それじゃあ本人もそうだなと。じゃあ、どうなるかといったら、連絡が来ないから、多分悪かったら、とりあえず慌ててコロナ困ったわね、マスクして買い物だけはやってきてとか、動くと思うんですよ。それがね、半日以上連絡が来なかった。そんなことで、どうなるかと思ったね。一番大事な初期対応がだめです。これ、買い物といえどもだめです。いってみれば、判明したら、市から誰かが応援に来るとか、代行サービスがすぐ来ますから、動いちゃだめぐらいのことをやらないと、みんな慌てて、とりあえず買い物行ってきてないわと。とりあえず、子ども呼びにいかないかと、マスクして呼びに行く。買い物だけはやって、またそれでも夕方まで連絡が来ていない。そんなことではだめですよ。だから、保健所へ、俺電話した。そうしたら、保健所で、市の北町センター、保健課へ電話したら、こっちじゃないですよと言われて、府中かなんかへもう一回電話した。

いやいやいや、それは困りますとか、動いちゃだめですって、そこで言うわけですよ。だめです、だけど、そこからパンパンパンパンっと来なくては、何もならない。もう素朴だけれど、大事なことが欠けている。それを強調したいです。今後あっても、そういう初期動作というのは一番大事なので。私なんかは、インターネットで、テレビでいつも言っているから、動けないだろうなと思うけれども、とりあえずそういっちゃ困るけれども、銀行へ行って、金だけは引いてきてとか、みんなやると思うんですよ。本当にだめなら、代行にやらすとかいうふうなことをやらないと、みんなが、私だけがやってしまうというね。で、娘のほうも、おかげで何日間か、半月ぐらいか、動かないでって言って、我々も恐る恐る手伝って、上手に乗り越えましたけれども。今後の大事な教訓だと思っています。以上です。

○西岡市長

貴重な実体験のお話を聞かせていただいて、ありがとうございました。また、心からお見舞いを申し上げます。基本的に感染判明いたしますと、その初期動作、いろんなケースになりますけれども、今かかりつけ医がいらっしゃる方は、かかりつけを通じてPCR検査センターに行き、陽性判明となると保健所を通じて、様々なその患者様の様態や状況に応じて対応がスタートいたします。しかしながら、特に感染者数が多い時期には、保健所の機能もかなり逼迫をしまして、初期動作のところで、例えば第5波のときにも、なかなか初動が十分に行かなかった。それから、東京都が用意している自宅療養者向けの支援というものが、十分に早期に、早い段階から届かないということもありました。もちろん、中等症から重症に至ってしまった場合は、これはコロナ感染症指定病院のほうで様々な治療体制に入るわけです。その患者様の御容態に応じた初期、初動体制、これはもう従来から日本全体で様々な御指摘をいただいているところであります。そんな状況の中で、小金井市といたしましては幾つかメニューをつくりました。1つは、検査体制を補完するときに重要なのは、検査に行くにしても、自分自身が陽性である可能性はあるので、なるべく公共交通機関を使わないほうが望ましいわけです。バスやタクシーや電車には乗らずに、検査に行ったほうがいいわけで。そういった方々が困らないようにということで、小金井市は早い段階から、独自にホンダ自動車から車の御提供をいただきまして、陰圧車、いわゆる運転席に座っている方々に感染の可能性がない特別な患者専用搬送車両というものを、今は2台持っています。その2台を借りて、自宅のお迎えに行き、検査会場に行き、

自宅まで送る。最近では、診療所に行く際にも、医師会の中でこの車が活用できるということで、病院間の移送についてもこの車を無料で利用できるように、今2台の車を運送しています。それからもう一つは、資料でお配りしておりますが、自宅療養者または濃厚接触者の方を対象に、小金井市独自の生活必需品をお届けしますよという制度をつくりました。これは、かなり利用条件については、臨機応変な対応ができるように心がけているところをごさいます、パルスオキシメーター含めて、食料品などをなるべく早く、御連絡いただければその日のうちに届けるという姿勢で、うちの職員が努力しています。今後はお買い物につきましても、代わりに代行で行けるようなサービスも構築いたしましたので、第6波に備えて、今の質問者の方からあったように、そういういろんな経験をしてきましたから、初動体制でなるべく落ち着いて行動ができるように、そしてなるべく支援が行き届くよというのを、しっかり取り組んでまいりたいと思っております。これから第6波に向けて、非常に重要なのは、やはり自宅療養者が増えると思っております。そういう意味では、小金井市では、東京都に保健所間で、保健所というのは小金井では多摩府中保健所が担当です、府中市、小金井市、武蔵野市、三鷹市、調布市、狛江市、人口が105万人です。都内では、一番大きな保健所圏域になっています。今後、この保健所のあり方、平時のときと有事のとき、平時のときとパンデミックが発生したときとあると思うんですけれども、今回のパンデミックを経験したことで、小金井市には自治体独自の小金井市が管轄する保健所がありません。多摩の自治体はほとんどそうです。26市のうち、保健所を持っているのは八王子と町田市だけです。あとは全部、東京都と連携しながら運営しているわけでありましてけれども、これも課題です。そんな状況の中で、地元の6市の市長さんたちと、緊急でいくつか要望しました。1つは、自宅で療養していても、自宅で過ごせない、感染が広がってしまう、家族に広がってしまうので、ホテルで療養する方々のための療養施設を東京都が運営しています。これが、どうしてもやはり感染が広がっていくと足りなくなりますので、このホテルをなるべく確保していただきたいと要望いたしまして、東京都も動いております。それから、もう一つは、自宅療養中に症状が悪化してしまう例がいくつもありました。中には、自宅療養中に状態が急変し、残念ながら尊い命を失ってしまったという患者さんもいらっしゃいます。そういったことがないように、これも6市の市長さんたちと一緒に、小池東京都知事宛てに要望いたしまして、この6市のエリアに酸素ステーション、また抗体カクテル療法が活用できる医療提供ステーションを、早急に整備していただきたいという要望をいたしました。その結果、味の素スタジアムに

10月ぐらいから、この酸素ステーション、医療提供ステーションをおかげさまで開業していただきました。今は、かなり感染者数が落ち着いていますので、現状は利用者数はほとんどいっしょらないんですが、こちらも第6波に備えまして、その大切な命と健康、地域の医療提供体制を守るために、連携してこの運営にも取り組んでまいりたいと思います。小金井市自体の先生も、PCR検査センターやこの医療提供ステーションに輪番で詰めていただいています。大変ありがたいことでございます。医療従事者の皆様方には、本当に御尽力いただいているわけでありますが、今御指摘いただいた初動をしっかりしてほしいということを、切実な要望はごもっともなことで受け止めておりますので、全力での準備に取り組んでまいりたいと思っております。一番いいことは、このような今、終息したわけではありません、まだウイルスは存在していますけれども、また海外ではデルタ株の新しい変異株が、イギリスなどではまた拡大しているという状況もあります、何とか今の状態がずっと続いていけたらと思っておりますが、行政としては第6波は起こり得るという想定のもと、引き続き感染症対策とワクチン接種の事業の推進に全力で取り組んでまいりたいと思っております。御意見、ありがとうございました。何かありましたら、どうぞ。

○市民B

今の非常にわかりやすい大事ないろんな対応策をお聞きしましたけれども、それこそ12月号は間に合わんかもしれないけど、1月号の市報とかに、今のような大事なポイントのところを、それこそ1面くらいでわかりやすく説明してもらうことが一番大事だなと思いました。ありがとうございました。

○西岡市長

ありがとうございます。この間、新型コロナウイルス感染症で、実感するとともに、職員の皆さんに常々私が伝えてきたことは、情報発信です。実にたくさんの情報が今あふれています。例えばですけれども、ワクチン接種に関して申し上げれば、誤情報、非情報、フェイクニュースみたいなものもかなりあって、何が正しい情報なのか難しい、わからないという方も、不安に陥ってしまう方もいっしょる。正しい情報を伝え続けるということは、とても大切なことです。経済対策の支援にしても、情報をしっかりお伝えしないと、せっかく使えるいろんな補助メニュー、支援メニューが使えなくなってしまうから、

情報発信、きめ細かな情報発信、ホームページやツイッターだけでなく、そういったものを見れない方々も大勢いらっしゃいますので、市報「こがねい」、ポスターの掲示、回覧板、入れていただく、ホームページ、ツイッター、市報「こがねい」、あらゆるツールを使って、引き続きコロナ情報をきめ細かく発信できるように努力を続けていきたいと思えます。ありがとうございます。

○司会者

ありがとうございます。引き続き、御質問のあります方、少々お待ちください。

○市民C

どうもありがとうございました。質問というか、関連していることがあるんですが、我々に不潔を勧めているわけではないんですが、人間の免疫抵抗力と、それから衛生学の進歩って逆比例するんじゃないですかと思うんですよね。たしかに10年前、この部屋で看護師さん、有名な看護師さんが講演されて、それでそのときにこの意見を言ったんですよ、逆比例、体の免疫抵抗力と衛生学の進歩って逆比例するんじゃないかと。そうしたら、その看護師さんたち、共通の意見では、そういうふうには説く医者の方もおられますと。しかし、私はここで説明することはできませんと。そういうふうには、それはもう私が覚悟を決めたのは、社会へ出ていくから、もう私も自分の免疫抵抗力をつけて生きるんだと。だから、庭いじりでも軍手を使わず、また駅に行っても、駅の手すりはずり必ず利用する。だから、エレベーターで何も触らずにコロナウイルスから逃げようと、こういうことは全然考えていません。それで、これもよくわけがわからないから、厚生労働省のそういうしかるべき課に電話したんです。そうしたら、厚生労働省の女のお役人で、係長だったんですよ、その人が言うには、その人に、蚊取り線香、有効なんじゃないですかと、そうしたらふーん、蚊取り線香ねえ、とりあえずこれは上のほうへ言っておきますからと。蚊取り線香というのは、除虫菊という生物をやっつける成分がほとんどゼロなので、だからそれを今も使わないけれども、使わないと僕の意見はボツになっちゃったんだろうなと思ってるけれど。ただ、今、日本だけですよ、こんなにコロナからの被害を受けていないのは。これは、要するにもう江戸時代だなんだって、もうあそこは夏になれば蚊取り線香の文化があったからこそ、世界で一番軽い状況の結果になったんじゃないかと。こういうふうと思うんです。それについて、市長は何かどういうふうにお考えでしょうか。

○西岡市長

ありがとうございます。なかなか専門的な意見だと思います。また、免疫力あってというのは、ある程度、コロナ対策のみならず、今のそういう形において大事な要素と言われている。それが、蚊取り線香の効果が免疫力の向上とどう因果関係があるのかというのは、すみません、私にはお答えするだけの知識がないと、厚生労働省などお問い合わせをされたということではありますが。よく言われているのは、日本は生活様式など、また生活文化などが欧米と同じなどと言われると、まさに衛生状態というんでしょうかね、衛生状態が比較的よいのではないかという指摘があるようでもありますけれども、しかし変異株という感染力が強いコロナウイルスが到来してしまうと、これはまた接触感染、飛沫感染含めてやはり感染リスクが非常に高いと思います。このコロナと戦うといいましょうか、コロナの予防、発症予防、重症予防には、現時点ではワクチン接種が最も効果が高いとされている唯一の切り札です。現在、御承知のように、欧米などでは経口薬の開発がされたり、また重症化を防ぐための抗体カクテル療法というものが開発されていたり、また国内の製薬メーカーも今、急ピッチで、いろいろな研究開発を行っていると聞いております。そういった医学的に根拠のある臨床試験なども通過した、様々ないわゆる医薬品が開発されてくることは望ましいと思っておりますが、現状日本国内で承認されているワクチンや、抗体カクテル療法など、こういったものをしっかりと医療提供体制の中に組み込んで、コロナの感染拡大を防止するということが大切だと思っております。ワクチン接種、それから基本的な感染予防、そして今質問した方がおっしゃったように免疫力の向上、これはいろんな効果があると言われておりますので、市民の皆様方に今回はコロナの感染拡大を一つの契機として、健康、感染症対策への関心というのは極めて高いという状況にあります。そういった状況の中で、医師会の先生たちと力を合わせて頑張ってもらいます。小金井市が、専門的な見地で情報発信をしている一つの情報源といたしまして、小金井市医師会からの市民メッセージというものを、これまでかなりの回数出させていただきました。これは、ホームページやツイッターや、ときに様々な情報発信の際に、動画の配信とかですね、いろんなところで配信していますし、病院や診療所に行くと、小金井市医師会メッセージ、市民の皆様へのメッセージということで、実に専門的なことをわかりやすくお伝えしていただいています、診療所に貼ってありますね。こういったものをぜひ御覧いただければと思っております。〇〇さん、すみません、専門的なところが私のほうで蚊取り線香のと

ころがなかなかわからなくて、申し訳ございません。

○市民C

これ、厚労省の係長さんも関係なんていうのはわからないんですよ。これ、わからなかったら、みんなあの世へ行って、閻魔大王に聞いてくればいい。

○司会者

ほかにどうですか。

○市民D

貫井南町〇丁目に住んでいます〇〇です。コロナの人数が少なくなってきた、皆さんの活動が、サークル活動がセンターとか集会所の利用が増えてきまして、私は貫井南町貫井南センターと、それから三楽集会所というところを利用しているんですが、その件について申し上げたいと思います。貫井センターはとってもよくできているんです、これは本当に外にエレベーターがあって、中1階のところにアルコールを置いていたんですけども、外から入る人がそこを通過しなかったんですよ。それで、アルコールを2階に置いてくださいといったら、即置いてくださって、とても空気の入替えもよくできていて、今のところ高齢者のサークル等に行くのにはとても安心してしています。それにつけ加えて、集会所なんです、集会所は利用者が少なくて、多くてもほとんど高齢者が利用しているんですね。三楽は3部屋あるんですが、3部屋がいっぱいになるなんていうことはほとんどなくて、夜はゼロぐらいの使用量なんです。せっかくの管理人さんもいらっしゃるんだから、朝1回、朝とお昼ぐらいはこのコロナのあれしている間は、空気の入替えぐらいはしていただきたいと思っております。

○西岡市長

ありがとうございます。施設ですね、各種施設のコロナ対策ですね、しっかりと行っていただきたいとの要望。貫井センターのほうは、おかげさまで非常に満足されているという御評価をいただいています。三楽集会所については、空気を入替えするなど、可能な限り感染予防対策を徹底してほしいという御要望、承りました。まずは担当のほうに、そういったお声があったということはしっかりとお伝えをさせていただきます。小金井市では、

この間、実にたくさんの施設がありますが、緊急事態宣言、リバウンド防止措置、いろんなフェーズがありましたけれども、時間制限、人数制限、用途制限、例えば大声を出すようなものは控えてください、カラオケはやめてくださいとか、フェーズ、フェーズでいろんな利用形態を、措置を取ってきました。市民の皆様方には大変御迷惑をおかけしました。そうしたいろいろな制限の中で、我慢して使っていただいております、本当にありがとうございます。しかし、おっしゃるように、基本的な対策を取るよにとっているのは、私たち行政ですから、その行政が管理する施設で感染症対策はしっかりと行う必要があるということは、十分私たちも認識しておりますので、管理人の方の御理解もいただきながら、有効な感染症対策がしっかりできるように努力いたします。ありがとうございます。その他、施設面とかで、あるいは何かコロナ対策、ワクチン接種はいかがでしたでしょうか、感想があれば。

○市民D

ワクチン接種に関しては、高齢者がインターネットを使えないので、皆さん申し込みだけをやっていて、コールセンターがいっぱいになったんですね。いっぱいいっばいで、私もできるだけ自分のことは自分でやろうと思って、申し込みを使っていたら、いっばいんです、いっばいんです、それが3週間続いたんですよ。そして、こんなにいっばいって、病院がいっばいってことはあり得るのかなと思って、息子にちょっとインターネットのぞいてって土曜日に言ったら、まるっきり空いていたんです。だから、あれはちょっと考えたほうがいいんじゃないかなと思って。もう明日でも取れるよって言われたの。そういう点がありました。

○西岡市長

ありがとうございます。この点は、たくさんの方に御指摘をいただきました。今年の4月、5月あたりから、この65歳以上の方々のワクチン接種が本格的にスタートしました。ワクチンの供給量も限られていた。そして、接種の体制も一定の範囲でしか準備がまだ当初はできていませんし、そこでコールセンターなどに予約がかなり殺到して、電話がパンクして、つながらないという状況が続きました。大変御迷惑をおかけいたしました。小金井市はかなり工夫はいたしまして、3つの方法で予約ができるようにいたしました。1つはコールセンターの電話と。もう一つは、インターネット、パソコンやスマホからの予約。

もう一つは、これはかかりつけの先生、医師会の先生たちの御努力によって、病院のほう、診療所さんでもいろいろな方法で直接予約を受けますよということで、3つの方法ですね、使わせていただきました。その点、工夫したところです。しかしながら、対象者が2万6,257人、この方々が一斉に申し込みがスタートいたしましたので、当初混乱を来してしまいました。中には、ほかの自治体では年齢を区切って、例えば最初は75歳以上、80歳以上、75歳以上、70歳以上と、こう年齢を区切って申し込みをしたところもあるんですが、これはどのやり方をとっても一長一短があるんですね。小金井市の場合は、接種体制が非常に充実していましたので、比較的門戸を開いて、希望したい方から打てるように努力はしました。ただ、途中ワクチンがなかなか供給されてこないという難しい点もありました。しかし、おかげさまで、小金井は医師会の先生たちの御努力によってかなり接種体制が充実しましたし、ワクチンの確保についても小金井市も相当努力をいたしました。特に小金井の特徴は、集団接種会場などは医師会の先生と薬剤師の先生たちが、日を追うにつれてたくさん打てるようになってきました。最初は、1時間で、1人の先生が大体20人ぐらいとか、1レーン20人とかいう想定だったのが、それが40人ぐらい打てるようになりまして、今ではもう五、六十人まで打てるぐらいの体制になってきて、いろいろな創意工夫が積み重なったんですね。これは、普通ワクチン接種を主たる業務としている事業者の人に委託をすると、契約をするので、接種回数ってなかなかそう簡単に増やせないんですが、小金井の場合は地域の医療支援、医師会、薬剤師会、地元の先生たちと一緒にタッグを組んで頑張ったので、ワクチンが供給されてくれば接種できる回数がどんどん増えていきました。日を追うごとにワクチンの接種率がどんどん上がってきたという、そういった創意工夫をした点があります。さて、今後です。今後でございますが、先ほど申し上げましたように、3回目の接種を希望する方は、8カ月たってから接種ができるということになりますので、今回行った、4月、5月以降行った一斉に予約が始まるという状況は回避できます。もちろん、これは国からしっかりとワクチンが供給されるということが前提条件となりますが、しっかりと今回は余裕を持ってというか、8カ月後以降と決まっていますので、そういった意味ではこう限られた予約枠に、この電話予約等が集中、殺到するということは避けられると思います。あともう一つは、インターネットだと予約が結構比較的できて、電話がない。これは、御承知のように、65歳以上の方の場合は比較的こういうものの操作が苦手な方がいらっしゃいます。今、コロナの状況の中でも、zoom会議とかオンライン会議みたいなのが増えてきましたし、お孫さんとラインなどを使

ってテレビ電話で話をしたりという方がいらっしゃって、65歳以上の方々が、もっとスマートフォンなどを使えるようになりたいという希望者がたくさんいらっしゃいます。最近の民間の携帯電話のショップなどにちょっと行きますと、ほとんど教室をやっていますね、スマホの使い方教室とって、すごい人気だそうです。小金井市でも、シルバー人材センターの方々が、こういったパソコンに非常に詳しい方々がいらっしゃるので、この方々を講師として、スマホ教室って、パソコン教室、インターネットをもっとわかりやすく楽しく使えるような、そういう講座をスタートしました。これ大変な人気でございます。そういった意味で、先ほどのPay Payですね、キャッシュレス決済なんていう、ちょっと横文字が続いて難しくなりますけれども、スマホをかざせばピッと精算ができる、こういったものも利用できるようにするためには、これはもう年代を問わず利用しやすい環境をサポートするのに、私たち自治体の仕事だと思っております。そういった意味では、民間事業者の方々のお力も借りながら、すぐに希望者全員というわけにはいかなくて、大変希望者が多くて、ありがたいことなんですけれども、可能な限り門戸を開いて、もっと身近にこのICT技術が活用、利用できるように頑張っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

○市民D

今、スマホのことが出たんですけれども、小金井の携帯会社〇〇でもってスマートフォン教室やっているんですけれども、4回行ったら、私でもマスターできましたので、とてもわかりやすいです。私にはもうこんなの必要ないと思ったんですが、やっぱり時代の流れで、やっていると、もういろいろなことができたり、いろいろなものができて、これからこれを勉強しなければやっぱりついていけないなという感じ、あそこの携帯会社〇〇ですか、教室へ行くと、本当に皆さんできるようになりますので、わざわざ市で教室を開くよりは、専門の人で教えてくださって、程度で教えてくださっているのととてもよかったです。

○西岡市長

生の声をお聞かせいただいて、〇〇でとてもよかった、4回でいろんなことができるように、素晴らしいことですね。例えばこんなお料理つくりたいけど、どんなふうにつくったらいいのなんて、レシピなんてすぐ出てきますね、もう肉じゃがレシピなんて検索する

と、もう何十個も材料とつくり方が出てきて、自分のお好みに合わせて選んでね、スマホ見ながら調理したりなんていう時代でございます。調べ物がすごくできますね。非常に便利でございます。自分が契約している民間の携帯会社、スマホ会社のところで教室に行けたら、それが一番わかりやすいと思うんですよ、そのスマホの使い方がありますからね。しかし、そこも、よく講座は入れましたね。

○市民D

空いています。

○西岡市長

そうでしたか。今すごい人気で。

○市民D

毎月、毎月、自分の選ぶところがあって。

○西岡市長

ああ、そうですか、それはよかったです。民間の、スマホ会社、携帯会社の方々には、そういったところでぜひ頑張っていたきたいなと思っているんですね。

○市民D

4回行けばね、大体皆さん基礎的なものができます。

○西岡市長

貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございました。その他ございますでしょうか。まだ1回目の方、1回目の方を優先します。コロナ対策です。

○市民E

梶野町〇〇です。前回もコロナのお話を聞いて、先ほど市長さんから第6波というお話が出ましたが、6波って来ますでしょうかという話と、今確かにいろいろ世の中緩んできて、私も今まで自宅にばかりいたんですが、少しずつ習い事に行ったりしております。あ

とニュースで見るとね、全国的にゼロの県が増えたって私は思っていて、このまま終息してくれるといいなって。海外から来るんじゃない、っていう話になって。でもね、検査したところで、何日か足止めしてからじゃないと入れないっていうことがあるから、大丈夫なんじゃないって、家族の中では言っております。確かにコロナ対策、本当に小金井市はすごく手際がよかったと、私は思っています。娘がやはりインターネットで申し込んだんですが、わがままに、そばで申し込むとモデルナだったんだけど、私たちがファイザーを受けたといたら、私はファイザーがいいって言って、インターネットでファイザー残っている病院探し、探して、うまく受けられました。第6波は来るでしょうか、市長さん。これだけは市長さんのお力でもどうにもならないのかしらとは思いつつ、すみません。

○西岡市長

ありがとうございます。これは、本当に難しいですね。もちろん、来ないことを願いますし、来ないようにワクチン接種やら感染症対策、これも引き続き継続して、みんなで力を合わせて努力するしかないと思いますが。ワクチン接種、接種率、日本はスタート遅れたんですけれども、しかし今となっては、ワクチンの接種率はかなり高くなっていて、いろんな国を超えてきていますね。なので、その効果はありますが、ただワクチンにも一定の期間があるということもわかってきていますので、3回目の接種、ブースター、抗体を上げていくという取組が求められているところであります。私、先ほど申し上げましたように、自治体の長としては、やはり災害もそうですけれども、やはり最悪のことを想定しなければいけないと思っていて。第6波は起こり得る、起こる可能性があるんだと、そういう想定で、担当職員の皆さんには、いろんな今のうち準備をしておいてほしいということを指示しております。これは、専門家の方々にもいろいろな意見があるところです。私もいろんな方々の御意見を聞いています。中には、デルタ株はもう死滅したのではないかというような研究結果が、おとといか昨日か、ある大学の方々から研究成果が発表されていたり、一方でイギリスでは、ワクチン接種も進んできたけれども、新しいデルタ株の変異株、新たな変異株がまた再拡大している。このコロナウイルスのみならず、ウイルス感染症対策で非常に難しさがあるのは、ウイルスも生き残るためにどんどん進化し、変異をしていくという怖さがありますね。同じものでとどまらないんだと。これが、そのウイルスの難しさであり、怖さ、恐ろしさだと思っています。したがって、当面はまだコロナウイルスが死滅したというわけではありませんので、完全に。なので、当面はウィズ

コロナということを念頭に置いた社会経済活動を行うということ。それから、御指摘があったように、水際対策ですね、外国から日本に来るときに、日本人の方であっても、外国人の方であっても、やはりしっかりした検査体制、一定の期間コロナの陽性、つまり感染してしまうような状況ではない、陰性であるというところがはっきりと確定をしてから国内に入らせていただくという、その水際対策は、これは極めて重要だろうと考えているところであります。来ないことを願っています。それから、ワクチン接種でのいろいろと御息女様の御体験などをお聞かせいただきましてありがとうございます。途中、モデルナにつきましては、異物混入であったりとか、いろいろありました。しかし、モデルナもファイザーも、両方とも効果があり、それぞれに効果の率であったり、副反応の発生率に違いはあるんですけども、しかしいずれにしても両方ともmRNAワクチンという同種のワクチンであって、効果は高いとされているところでもあります。ファイザーは8カ月後から3回目接種がスタート。モデルナを打った方は、まだアメリカでは先ほど申し上げましたように半年たってから。注入する量も、たしかファイザーは同じ量をもう一回入れるんですが、モデルナは半分の量をアメリカでは、6カ月後で半分の量というふうになっているそうですが、果たして日本ではどうなるかというところでもあります。今、その準備を整えているところですが、モデルナを打った方々が、まだ状況がはっきりしてこないというところがございます。モデルナは途中、若い男性に心筋炎が発生する確率が高いということがわかりまして、途中から急遽、1回目モデルナを打った方のうち、20代、30代の男性は心筋炎の副反応が発生する確率が高いので、2回目はファイザーを打ってもいいですよという選択制に変わりました。なので、2回モデルナを打った方、あるいは1回モデルナ、2回目ファイザーという方々が、3回目どうなるか。この辺がまだ詳細が日本の場合は、おそらく分科会で議論中だったと思いますので、私どもとしては早くその方針を出してほしいと思っていますが。いずれにしましても、私どもとしては、かなり高い接種率で2回目の接種を終えています。12歳以上で約83%の方が接種を終えていますから、基本的にはその全員の方が3回を希望しますといったときに、打てる体制をつくらなきゃいけないんですね。なので、長い戦いになりますが、引き続き努力してまいりたいと思っております。以上でございます。

○司会者

まだ発言されていない方で。

○西岡市長

〇〇さんどうぞ。コロナのほかでも何でもいいですよ。

○市民F

〇〇町に住んでいる〇〇です。貫井団地に人が集まり過ぎて、ちょっと困っています。外から来る人ばかりで、平日は保育園の帰りのお母さんと子どもさんが集まって、休みの日はやっぱり午前中から人が集まって、大分密集しておりまして、子どもたち連れてくるのは、公園で遊ばせるのはいいんですが、ごみを捨てたり、結構いたずらとかもするので、ちょっとだから集まってくる人数が多過ぎるなということがあるので、1回ちょっと見てもらいたいなと思っています。団地の管理人さんも、ちょっとそこら辺は困っているみたいで。団地といっても、東京都のものなので、ここで言うていいのかなと思っていたんですが。人が集まり過ぎて困っているので、どうかよろしくお願いします。

○西岡市長

はい。私は貫井団地のことは存じております。中心部にある公園ですよ。かなり遊具もあって充実した公園ですね。団地にお住まいの方以外の方々も、あの公園を利用されていらっしゃる。最近人は多くて、ちょっと密ではないかということと、またごみなどをそのまま置いてしまうという課題があるという御指摘でございました。あそこの公園の管理は、東京都住宅供給公社ですよ。ただ、市内のことなので、公園を所管している担当には、そういう市民の方からの声があったということはお伝えいたしますし、またJ K Kの場合は、都市整備部、まちづくり推進課のほうで都営住宅の募集などとの関連がありますので、公園管理している環境政策課とまちづくり推進課のほうには、そのようなお声があったということは共有させていただきたいと存じます。コロナ禍の中で、なかなか行き場がなくて、公園を利用する人がとても増えているのは事実であります。新型コロナウイルス感染拡大が発生したことで、在宅者が増えました、テレワークの人も増えました。今までよりも、小金井市内で過ごす時間が多くなっています。お子様を子育て中の方は、今まではずっとお仕事をされているお父様がテレワークになって、子どもを散歩させたり、今までよりも小金井市と地元とつながる時間が長くなりました。それはそれで、私はいいことだと思っています。ただ、市立公園などもかなり利用者が多くいてしまって、いろいろ

るところ守っていただきたいルールがなかなか守られないという課題もございまして、いろいろな張り紙をしたり、看板を立てたり、いろんなことを係員もやってきてはいるんですが、そういう課題がありますので、引き続きごみをそのまま、小金井市はごみ問題に一生懸命取り組んでいる自治体でありますので、そこで食べたものなど、様々なごみを散乱したまま立ち去られることは、非常につらいことなので、ルールを守っていただけるように、関係機関と力を合わせてまいりたいと思います。ありがとうございます。

○司会者

では、2回目です。

○市民G

コロナの対応の仕方に矛盾、大いなる矛盾があると思うんですね。だってさ、だって密のところは避けるようにと云って、3人家族は、夜なんか特に、3人家族が一緒になって御飯食べるわけじゃないですか。それで、それは密と言わないんだよね。ところが、常に新鮮な空気を吸いなさいというんで、窓を開けて、空気を入替えてくださいと。だったら、外へ出て、公園で、人の少ない公園でゆったりと過ごして、涼風に当たったほうが、案外効果があるんじゃないかと思うんですね。ところが、外へ出るな、出るなって、これは何か矛盾で、わけがわからないね。

○西岡市長

ありがとうございます。家族単位の生活、これは家族と生活しながらの家に帰ってきたら手を洗うとか、うがいをするとか、消毒をするとか、家族間でも基本的な感染予防対策は、これは必要だと思います。しかし、一緒に生活をしていて、その家族間の生活をさらに接触しないように生活をするというのは、それはなかなか難しいと思いますね、そんなに大邸宅に住んでいる人は少ないので、みんな同じ玄関で入って、同じお風呂に入って、同じトイレを共有するわけですから。ただ、まあ外から帰ってきたときに、手洗いやうがいなどをしっかり徹底する、これは大切なことだと思いますし、私も一生懸命やっています、家に入ったらもうまず手洗い、そして必ずうがいですね、これはもうやるようにしているんで、それはもう家族単位で生活している以上、避けられない密というのは当然あるとは思いますが。しかし、その中でできることに取り組む。あとは、可能な限り外で時間を

過ごせばいいのではないかという御意見ですが、そういった理論的にはもちろんそういうこともあるかもしれませんが、しかし朝起きてずっと家の中にいないで、ずっと外で過ごすということもなかなか難しい面がありますので、もちろんお散歩したり、外の空気吸ったり、窓開けて換気したりというのは大事なことだと思いますので、それはもう適切なバランスが大切かなと思います。ただ、これから心配なのは、去年もそうでしたけれども、寒い冬の時期を迎えてまいりますので、やっぱり寒い冬ときには、暖房器具を使いながらもしっかりと適度に換気をする、適切な換気をするということが大切かなと考えております。〇〇さんの御質問、なかなか難しい御質問が多くて、少し専門的なところがもっと必要なのかもしれません。どうかお許しいただきたいと思います。

○市民H

貫井南町の〇〇と申します。いろいろお世話さまになります。はっきりしたことはわからないんですけども、どうもお隣の方がコロナで、自宅療養をなさっているんじゃないかと。で、ご近所の方とも全然お会いしていませんねと。それで、もうかなり、2カ月近くになるんでしょうかね。だから、今どういう状況なのかしらと、みんなで心配はしているんですけども、お隣にいて、どうですかということにもならないし、まあ先月か先々月ぐらいには、市議会議員の方も訪問なさっていたので、それなりにしっかりフォローはしていただいているのかなと思うけれども、ちょっとピークのときに390人ぐらいいらした、今一桁ということだったのでね、これはもう2カ月以上ともなると、どこであれしたらいいのかなって、みんなで心配しているだけなんですけれども。よろしくお願ひします。

○西岡市長

新型コロナウイルスの陽性というのは、陽性判明というのは基本的には個人情報に該当しますので、もちろん小金井市からこの方がそうですよということを、他人にお伝えすることはできませんし、あとはもう陽性判明の方がどこまで御自身の判断でお伝えするかはその方の御判断であります。難しいところです。ですから、なかなか連絡が取れないということであれば、まあそれは、それからコロナかどうかかわからないですね、別な事情かもしれませんし、普通に生活しているのかもしれませんし。なので、そこはもう御近所つき合いの中で、適切な対応が必要になってくるのかなと思うところです。ただ、まあ一般的

な一般論として、いつもいた方がどうもいらっしゃらないとか、どうしても気になるときには、小金井市の福祉部門の窓口もありますので、ちょっと連絡入れていただくとか、あるいはその方がもし御高齢の方であれば、民生委員やそういった方々、地域の方々と連携、あるいは地域包括センター、高齢者の方ですよ、御高齢の場合は地域包括センターとちょっと情報共有するとか、そういう方策もあるのかなと思っております。よろしく願いいたします。

○市民H

ありがとうございます。ただ心配しているだけで何もできなくてね、御近所の人と話しているだけで。はい、ありがとうございます。

○司会者

御質問の方。

○市民I

コロナに関する事じゃなくていいですか。

○西岡市長

いいですよ、じゃあ次からは。しかしね、時間がもう4時にはここを退出しなければいけませんので、残り時間はないということで御理解ください。

○市民I

ごみの件なんですけれども、よろしいですか。

○西岡市長

はい、どうぞ。

○市民I

私、毎週土曜日に役所のあそこのごみの整理に来ているんですけれども、役所の担当の人に、あんなにあふれているのならば、ちょっともうちょっと容器を多くしてくださいと

いったら、それも受け入れてくれないし、そして今度暮れなんですけれども、去年、私あれ、風吹くとあそこ年寄りが歩いて、滑るんですよ、ペットボトルが舞っていると。今日も私、結わえつけてきたんですけれども。それが大きくできないので、大きな袋をじゃあ暮れはつけようと思って、ガムテープと両方持ってきたら、あのごみ箱撤去されちゃっていたんですよ。お正月の三が日だけ撤去しちゃって、また出しているんですけれども。出してくださることは結構なんですけれども、今単身者は皆さんパックを入れていくんです。

あそこはとってもいい場所らしいんですよ、消防署の前と。あそこをもうちょっと担当者の方に、大きな箱を置くなり何なり、今日も見てもらいたいですけれども、今日はペットボトルがあふれちゃって、私も袋持ってきて結わえつけてきたんですけれども、パックは飛ぶんですよ。で、車道に出てきているの。それを、あそここのところをもうちょっと大きなものにしてもらいたいと思う。生協なんかは、パックとほかのものを集めていて、なんかはとってもよくできているんですけれども、市がごみごみって言うのに、あそこが舞っていたんじゃあちょっとみつともないと思うんですけれども。よろしく願いします。

○西岡市長

まず、小金井市のごみ減量、分別にみずから率先していただいて、御尽力いただいております。場所は本庁舎の隣の旧消防署の入り口の前ですよ。ちょうどこの商工会の前あたりですよ。わかりました。

○市民 I

毎週やっています。

○西岡市長

今いただいたお声は、担当も知っているとは思うんですけれども、今日の市民と市長の座談会でもあふれてしまっていて、もうちょっと容量を大きくしてほしいと、工夫してほしいというお声があったことは、しっかりお伝えをさせていただきたいと思います。しっかり分別を徹底していただいたり、資源回収、たくさんの方が御協力いただいているあかしだと思っていますので、それはそれでとてもありがたい現象だと思うのですが、あふれてしまうと、それが結果として安全性の問題を想定できれば、それは大きな課題になって

まいりますので、善処できるように対応させていただきたいと思います。

こちら、御連絡を担当から入れるようにしてください。

○市民 I

なくてもいいんです、あそこを直していただければ。

○西岡市長

一応、私どものほうからちゃんと連絡をさせていただきたいと思いますので。

○市民 I

私、風の吹く日は必ず土曜日は来ているので、そこ。

○西岡市長

仮に善処するにしても、一定の時間がかかるかもしれませんので、そういったことも含めて、また担当のほうも検討しなければいけませんので、御連絡はぜひ入れさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

※ごみ対策課より回答

旧消防署建物前の拠点回収場所に設置しておりますペットボトル・食品トレイの回収は週3回、行っております。また、ごみ対策課でも見回りを行っており、一杯になった対象物の回収と対象物以外（不法投棄物）への対応も行っております。年末年始については、回収業者及び市役所が休業となり対応ができないため、飛散等により近隣住民の方にご迷惑をお掛けすることを防止する対策として、回収の一時中止（拠点回収ボックス撤去）をさせていただいております。この拠点回収場所は監視の目が少なく、対象物以外の投入（不法投棄）が多く見られ、管理に苦慮している状況です。そのためボックスの容量を大きくしたり個数を増やすといった対応は現状では難しいと考えます。引き続き回収状況の把握に努めるとともに、拠点回収場所の保全に努めてまいります。資源物等が散乱しているような状況にある場合は、お手数ですがごみ対策課までご連絡いただければ幸いです。ご理解とご協力をお願いいたします。

○市民 I

よろしくをお願いします。

○市民 J

関連。

○西岡市長

マイクを消毒しなくちゃいけないんですよ、ちょっと待ってください。

○市民 J

コロナの話じゃなくて、2点要望いたしたいと思います。1つは、市庁舎、福祉会館の問題。1つは、私がやっています国分寺崖線とか緑を守るという問題です。まず、1の市庁舎、福祉会館問題。私はどっちかというと、何々系の野党応援派ですけども、実に20年前に来たときには、旧庁舎に1日当たり、いや、新庁舎に100万金がかかったと。早くせいとっていたのが、実にここまで来たわけですけども。

○西岡市長

第二庁舎ですね、リース庁舎に1日100万円ですよ。

○市民 J

そうですね。で、本庁舎はやっとこさ、というけれども、どうも市議会とか運営を見てみると、なかなか西岡市長は手こずっている。これはまあ難しい問題だからあれだけでも、簡単にいえばいいかげんにして、早くやってもらいたい。福祉会館だって、御存じのように、旧福祉会館がいっぱい利用していたのが、それがなくて散らばって不自由しているので、早くやってもらいたいというのをしっかりお願いしたいと思います。

○西岡市長

ありがとうございます。

○市民 J

だからね、やっぱり時間との問題もあるわけですよ。言い出すと切りがない。で、我々も随分知恵を絞って、レイアウトとか、取り入れられていない防災問題だって、真っ先に俺突っ込んだことをやっているけれども、防災の問題面からしても、早くやってもらいたい、あれ。で、この間なんかで見ますと、国分寺と小金井市が似たり寄ったりだけれども、市庁舎建設の条件、資金等。でも、小金井は既に用地がある。建設規模は似たり寄ったり、向こうはちょっと重い。だけれども、準備金はある。ただ、小金井はそこまでない。でも、どうですか、稲葉氏のときから、こういっちゃあれですけども、旧庁舎の売却の問題とか、いろんなところをそれに充てるってはっきりうたって、向こうへつくろうという話になってきたと思うので。それだって、早くそういうことも踏まえながらやってもらいたい。それが一つ。それから、緑を守る問題。道路問題が2つ大きなものがあるけれども、その他にもいっぱいあります。やっぱり私が言うのは、緑を守るという、緑の快適な地を守っていくというためには、特に国分寺崖線の緑を守るという。そんなふうに掲げたのは、御存じであるかも知らないけれども、あんまり個々に挙げたら失礼かもしれないけれども、大きなポイントは多分これだろうと思うのは、〇〇邸、それから失礼やけど〇〇さんのところ、それから緑といえば〇〇園などもそうですけれども、全部遠縁さん絡みなんだね。でも、やっぱりこれは市も関心を持って、いろんなことをやっぱり現実的にやってもらいたい。そうしないと、いざとなった場合には遺産相続までに間に合わないという問題があります。それをしっかりやってもらいたいと思います。それから、緑のあれでは、市庁舎をつくるどころの建設のときには、緑地が少ないというけれども、俺は西岡さんに頼んだのは、半ば冗談みたいに言っていたけれども、本気に考え出したのは、やっぱり隣のせっかくならば植林地があるところをキープするぐらいの先を見越したことを考えてもらいたい。それが要望でございます。大変大きな問題であり。

○西岡市長

ありがとうございました。新庁舎及び（仮称）新福祉会館建設を早期に実現していただきたいという御要望は、受け止めさせていただいております。それは、私も同じ思いです。新庁舎、（仮称）新福祉会館建設、この建て方、お金のかけ方、建てる専門的な知見であります。建設方針、施設配置、外観、庁舎建設用地の利用のあり方、あるいは連動するC o C o バスの総合的な見直し、あるいは周辺整備、実に多様な分野においていろいろな御

意見があります。しかし、私としてはこの間、市民や市議会の皆様方の多様な声を反映できるものは反映しながら、そして理解と合意を得られるようにということで、この6年間新庁舎、(仮称)新福祉会館建設の実現に努力してきました。目的は言うまでもなく、小金井市の未来のため、将来のために新しい防災の拠点、行政の拠点、そして福祉の拠点をつくる必要があると判断しているからです。御指摘がありましたように、福祉会館も既に閉館し、その中に入っていた様々な機能は今、その全てが暫定的に稼働して、分散しています。庁舎機能も分散しています。老朽化もかなり深刻な課題です。そして、市役所の第二庁舎はもう既に28年間ずっと開業しておりますが、事実経過だけ申し上げれば、既に賃料として支払った金額はもう70億円近くになっております。そういったものを総合的に含めると、私はこの新庁舎、(仮称)新福祉会館建設は何としても成し遂げなければいけないと思っています。そして、小金井市の場合は、単なる庁舎ではなくて、福祉会館と複合施設という点ですね。4キロ、4キロの小金井市のまちに、市のちょうど中心部です、庁舎建設予定地は、そこに庁舎機能の全ての機能、福祉会館として入っていた、以前入っていた大半の機能、そこにプラスして、小金井市の一番西側にある保健センター、この保健センターの中に入っている機能も全て福祉会館の中に入ってきます。今回、コロナで痛切に感じたのは、今でも保健センターでワクチン接種をやっているんですが、やっぱり位置が一番西側にあるんですね。それで、お子様連れのファミリー世帯であったり、例えば乳幼児に関係すること、妊婦さんに関係すること、梶野町や東町、東部地域にお住まいの方々、天気の悪い日にもし保健センターに行こうとすると、かなり不便であります。なので、市の中心部で庁舎、福祉会館、保健センター、この機能を一体となって事業展開ができるということは、複合施設としての機能としての役割を發揮したいと思っています。また、福祉の総合相談窓口という新しい福祉施策も展開するために、今、社会福祉協議会で試行的に運用して、今どんどん経験を蓄えていただいています。いい事業になればと願っております。そういった意味からも、何とか頑張りたいと思っています。一定規模の、もちろんコスト、庁舎、福祉会館、大きな規模の建物ですから、一定規模の建設工事にはなりますし、起債も活用します。でも、この市役所、福祉会館は50年、そして大規模改修やいろいろな手を加えて、またさらに数十年長く使っていくものです。したがって、いわゆる借金、起債、これも有効に活用させていただきたいと思っておりますが、今ある課題をやっぱり解決していくためには、これは何とか頑張る努力していきたいと思っています。しかし、市議会や市民の皆様方の御理解を得ながらではないと、やっぱり進めら

れませんので、引き続き努力してまいりたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。小金井市の緑の保全の関係でございます。農地などが相続税によって宅地化されていくという、これは国の政策に基づくものなんですけれども、この大きな流れの中で、土地を持っている農家の方々も、本当に先祖代々受け継いできた農地を手放さざるを得ないというのは、どなたもつらい、苦しい思いをされていますし、私もいろんなお話を直接聞いています。そういう状況の中であって、小金井市としてできることはしっかりやっていきたいと思えます。例えば生産緑地の規定についての条件をかなり緩和いたしましたし、また今回、小金井市は環境基本計画、緑の基本計画、地球温暖化対策地域推進計画という3つの計画をつくりました。その中で、新しい取組も今やろうとしているのは、例えばですが、200平米以上、200平米以上の一定の土地に宅地をする場合には、20%程度の緑地をつくって下さいねという協力を小金井市のほうから求めていく、今までなかった制度なども取り組んでいくために、今パブリックコメントをかけさせていただいております。様々な土地の御指摘をいただいたところですが、都市農業を取り巻く政策、法律も大分変わりました、都市農業振興基本法や基本計画ができ、また、都市農地を賃借しやすくするための法律ができたりしまして、農地をNPOの法人や企業などに貸し出すことも可能となりまして、多用途に農地が活用できるようになってきています。小金井市はかなり先進的な取組が進んでいまして、NPO法人が既に農地を借りて、市民農園を行っているところが桜町にあります。それから、東京都のセミナー農園が、武蔵小金井駅北口の駅の近くに開設予定で、農業者の方がそこに手を挙げていただきまして、農地を活用したいろいろな高齢者福祉の観点から、農地を有効に活用する新しい取組がいよいよスタートします。今、その募集などが行われています。なので、今、新しい取組がどんどんスタートして、胎動を感じています。しかしながら、根本的ないわゆる相続制度というもの、これは非常に大きな壁だとは認識しているところであります。そんな中で、小金井市としてできることはしっかり取り組んでいきますし、御指摘のように、私は小金井というまちは、水と緑、湧き水と緑、桜と公園、水と緑、桜と公園のまちだと思っていますし、それが市民の皆様方の小金井への愛着であったり、誇りであったり、夢や希望だと思っておりますので、将来世代にこのすばらしい豊かな環境を引き継いでいけるように、市としてできる取組は力を貸してもらいたいと思っております。質問者の方は、野川の環境やホテルや自然環境を守るために、日夜本当に御尽力をいただいていることは存じ上げておりまして、心から感謝申し上げたいと思えます。ありがとうございます。

○司会者

最後の質問ですね。

○市民K

簡単だけど、一番興味がある。はけの下の道路、あれが今問題になっている道路。小池都知事は何もしていませんよね。小池都知事があそこにはけの道路をつくるか、つくらないか、決断していないですよ。ただ、僕がいうことは、前の稲葉市長のとき、稲葉市長は連雀通りでは、連雀通りではもう小金井の基幹道路であると、はっきり断言していましたよね。さらに、西岡市長もそういうようなお考えを持っている、現実的に。だから、連雀通りをとるか、はけの下の道路をとるかの問題でしょう。それは、誰も言いません。言わなけれども、私どもが考えていると。中には、連雀通りを全部緑地化して、遊歩道にしちゃえと、そういう人もいます。そういうふうにしなきゃ、今の連雀通りでは危なくてしょうがないでしょう。死人が出てからじゃあ遅いんですよ。だから、あの連雀通りで地権者が、もうこの土地は譲らないんだって、頑固に言い続けたら、これはもう小池都知事だっではけの道路をつくらざるを得ないでしょう。それだけど、連雀通りを拡張できるんだったら、あんなの、小金井市民が待望している緑の民地をなくすなんていう理由はないわけですよ。そここのところに、非常にいろんな人の謀略が渦を巻いているんじゃないかと、私は思いますがね。

○西岡市長

小金井の道路網についての見解が問われていると思うんですね。3・4・11、3・4・11については、私自身の考え方というのが、市議会でもよく御質問されるんですが、はっきりと御答弁はさせていただいております。この3・4・11という東大通りは南へ連雀通りから甲州街道にかけて、これは幹線道路、道路ネットワーク、防災上の観点、道路交通網、それから現行の土地計画マスタープランでも推進されてきたという観点、行政の継続性、いろんなことを考えますと、私はこの3・4・11の幹線道路としての必要性は認識しています。しかしながら、多くの市民の方々の理解が必要だと思っていますので、現状では市民、これは東京都の事業ですよ、東京都の事業ですが、現状では市民の方々の理解が得られていないと私は思いますので、東京都には今の状況の中で事業化をするという

ことについては、私は賛同できませんということをはっきり申し上げています。それから、3・4・1につきましては事業を見直すべきだということも、はっきりと市長としては都知事に申しあげました。小池東京都知事御自身は、こういった私の要望については丁寧に対応したいというふうには答弁していただいております。連雀通りについては、これは小金井市の東西の道路、北からいくと五日市街道、そして北大通りになります。南に行く、全部はつながっていません、農工大通り、まさに連雀通りになりますね。そして、東八道路というのがあります。連雀通りは重要な道路だと思います、重要な道路です。ここを以前、交通安全対策上、ちょっと危険なところ、歩道が狭いところとかいろいろあって、交通量も多かったので、拡幅をするような新しい事業化をしようという動きはありました。しかし、沿道市民の方々からすると、全く計画がないところに拡幅計画というのは、それはもう皆様方の私有財産に関わるところでございますので、賛同を得るような状況には至らなかったというふうに、昔はそういう経過があったと理解しています。

なので、今から何の計画もないところに道路を拡幅しますよというのは、これはなかなか困難、難しいと思います。しかし、一小のところや東大通りのところなどにおいては、みちまち事業などで、右折レーンをつくっていただくような拡幅は行っていただきましたので、東京都に、大分渋滞が緩和されてきてはいます。しかし、大型商業施設などによって、時間帯によってはまだ混雑するようなところもあります。

いずれにしても、連雀通りは非常に重要な道路だというふうに市長としては認識しているところでございます。

○市民K

ありがとうございます。

○司会者

多くの御意見、ありがとうございます。それでは、お時間となりましたので、最後に市長が一言申し上げまして終了とさせていただきます。

○西岡市長

皆様、今日は日曜の午後という貴重なお時間をいただきまして、市民と市長の座談会にお越しをいただきましてありがとうございます。また、貴重な御意見、現場の声、御意

見、御要望、御指摘、それに御激励もいただきまして、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染拡大という、今を生きる私たち日本人が、初めて経験するパンデミックに向き合ってきたこの1年数カ月で、もう間もなく2年になろうかと思います。大切なことは、やはり市民の皆様方と力を合わせて、情報共有しながら乗り越えていくということだと思っておりますので、我々も一生懸命頑張っております。何としてもこの新型コロナウイルスの感染拡大を乗り越えて、この困難を乗り越えて、新しいポストコロナの時代を小金井という地域でも築き上げていけるように、引き続き努力をしておりますので、どうかこれからもよろしく願いいたします。

本日は貴重なお時間をいただきまして、本当にありがとうございました。

○司会者

ありがとうございました。以上をもちまして、令和3年度第3回市民と市長の座談会を終了させていただきます。本日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。